

上士幌町ドローン×共同配送モータルシフト

協議会名：上士幌町新スマート物流推進協議会

【事業実施背景】上士幌町は北海道十勝北部に位置する、人口約5,000人の町である。面積は東京23区よりも広大で、民家が分散しており宅配の配送効率が悪いため、物流課題は深刻である。そのような状況の中、2022年度よりNEXT DELIVERY社と連携し、新スマート物流の取り組みを推進している。本事業においては、持続可能な物流網の維持を目的とするとともに、今後、同様の過疎課題を抱える市町村への展開も見据え、共同配送やドローン配送の活用を含む事業計画を策定する。

事業内容

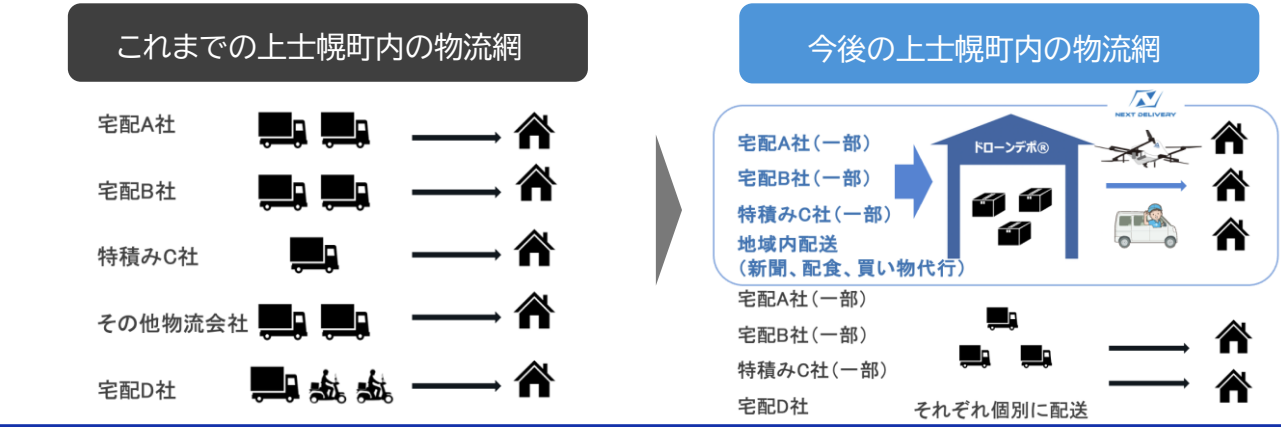
Point 上士幌の域内配送において、ドローンと軽自動車を組み合わせたハイブリットな新スマート物流を行い、自治体主導での共同配送の促進と地域物流の効率化、持続可能な物流網の実現を目指す。ドローン配送においては約款等の制度設計が曖昧なため、課題点の洗い出しと持続可能な事業計画、制度案を策定する。

想定事業実施効果

- ①持続可能なラストマイル配送の構築
- ②ドローン配送の事業化とネットワーク最適化
- ③拠点整備方針の策定(ドローンデポ)
- ④障壁となる法制度、あるべき制度の洗い出し

C02排出量（削減量）※1	約 60 t/年
ドライバー配送時間（削減時間）※2	14,600時間
積載率向上割合(積載量)※3	+ 5pt改善

※1:トラック台数の削減(15台→10台)に伴うCO₂排出量(年)
※2:年間14,600時間相当の配送拘束時間の削減
※3:積載率の向上(年間平均70%→75%)



【ラストワンマイル】商品やサービスを、最終的に消費者に届ける“最後の区間”	【特積】「特別積合せ貨物運送」の略で、複数の荷主の荷物を一つのトラックにまとめて運ぶ運送サービス	【新スマート物流】デジタル技術や新モビリティ(ドローン・自動配送車など)を活用して、持続可能で効率的な物流を実現する仕組み
【ドローンデポ】荷物の積み替えや保管などを行う中継拠点で、ドローンの配備、離発着地点として活用される	【共同配送】複数の企業の荷物をまとめて一緒に配送する仕組み	